ぺんぎん　8月号

体調不良で欠席が多かった 7 月。スライム遊びをしたり、プールに入ったり、体調に気をつけながらも楽しく過ごすことができました。

スライムびよーん☆

スライムぺちぺち

スライム遊びでは、トロトロと手から流れていく様子や不思議な感触に驚きで、みんな静かに遊んでいました。

収穫してそのままのキュウリおいしい☺

「キュウリおかわり！」

キュウリの塩もみクッキング♪

お塩しょっぱいよ～

キュウリもみもみ

園で収穫したキュウリを、みんなで手で揉んで、塩もみにして食べました。キュウリが苦手な子もパクパク食べていました☆

シャボン玉ふぅ～

水気持ちい～

園庭ではシャボン玉や泥遊びを楽しみ、天気が良い日は屋上でプール遊びをしています。
暑さに負けず、８月も元気に過ごしていきたいと思います！
保育参加、お待ちしています☆

ピタゴラスイッチ♪

「先生、ピタゴラスイッチするから見てて」と言って積み木でドミノを作り始めたＳくん。
倒れていく様子を保育士と一緒に見ていると、Mちゃんがやって来ました。

Ｍちゃんがやってきて…

Ｍちゃんは「ピタゴラスイッチ見ててよ」と言ってドミノの両端に三角形の積み木を置き始めました。そして、四角形の積み木をその三角形の積み木から滑らせて…

三角形の積み木がドミノを倒していきました！三角形を滑り台のようにする発想に驚きです！これにはＳくんも楽しくなり、いきなりやってきたＭちゃんと一緒に繰り返し遊んでいました。

「おもちゃありますよー！！」

スコップやカップにお弁当箱に…
たくさんの玩具を次々にカゴに入れ始めたＳくんとＲくん。

カゴいっぱいになると、ミニハウスの中へよいしょ、よいしょ。

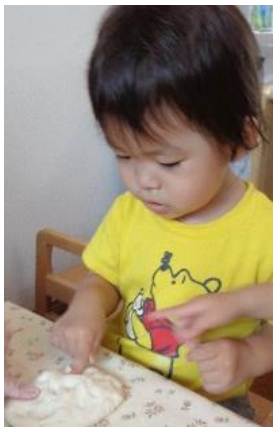
２人で協力して、重いカゴをやっと置くことができると、Ｓくんは「みんな～おもちゃですよ～」と玩具を配り始めました。友だちが一気にやってきて、あっという間に玩具はなくなっていました。
周りに大きな声で声をかけるＳくんの姿に驚きました。
まだまだ並行遊びは続きますが、たまに自分から声をかけてみたり、いつの間にか同じ遊びを楽しんだりしているぺんぎん。友だちとの関わりを求めるＳくんの一コマでした。

かめ
8月

いよいよ本格的に暑くなり、夏本番を迎えることになりました。体調を崩したり、クラス閉鎖になったりと、お休みしていただく日が続きましたが、ご理解・ご協力いただきありがとうございました。
コロナだけなく夏の感染症もあったり、まだまだこれから暑い日が続くので、子どもたちの体調には十分気をつけて過ごしていきたいと思っています。

泥遊び水遊びはぺんぎんさんと一緒に楽しみました！
泥遊びは、ぺんぎんさんの子どもたちが泥まみれになって遊ぶ様子に圧倒されたり、泥の感触が嫌で様子を見ていた子どもも、徐々に慣れ自分から遊び始めました！
水遊びは、コップや入れ物に水を入れたり、キャップを並べて楽しんでいます！

小麦粉粘土はコネコネしたりちぎって楽しみました！
またジッパーの袋の中にヌルヌルの絵の具を入れて、指や爪で触りました！



ぺんぎんさんからミニトマトを分けてもらいました♪

0歳児は暑かったので室内で過ごしました。
マットの山をハイハイで昇り降りして身体を動かしたり、出す・入れる・引っ張る等の手先を使う遊びが上手になってきました！

握ってみる

Ｓ君は砂場で遊ぶのが大好きで、スコップに興味津々です。
園庭で遊び始めた当初はスコップをどう使うかわからず、保育士にしてほしいことをアピールし、保育士の真似をしていました。

してほしいな・・・

まねしてみよう！

その後、砂場で遊ぶ経験が増えるにつれ、自分でスコップを持ち、砂を掬おうとするようになってきました。

保育士や友だちがしているのをまねて、スコップを持って掬ってみました。しかし上手く掬えません。スコップを握る位置を少し上部へと移動し再度挑戦。すると少し砂を掬うことができました。自分でやってみて微調整しながら上達していくんですね。

食事では、スプーンを握る練習を始めました。まずは保育士と一緒に自分でスプーンを握り、掬ってみるようにしています。手首の動きがスムーズになると掬うことが上手になります。上握り→鉛筆持ちへと、少しずつスプーンの持ち方の段階を踏みながら上手に使えるようになればいいなと思います♪

友だちの心に寄り添って

少し機嫌の悪いＭちゃんがソファーで寝ころんでいます。そこへ、Ｅちゃんがやってきました。どうするのかなと様子をみていると、Ｅちゃんは持っていた布をそっとＭちゃんのお腹にかけてあげました。

布をかけてあげた後も側に寄り添っています。

Ｍちゃんにかけていた布がずれたので、かぶせ直してあげています。

Ｍちゃんも嬉しそうです。

Ｍちゃんは気分が切り替わり、Ｅちゃんと二人でしばらく絵本を見ていました。

Ｅちゃんなりに Ｍちゃんの状況を察して取った行動なのかなと感じました。
言葉で「どうしたの？」「なにかあった？」等言葉でやり取りするのは難しい年齢です。
ですが、こうやって友だちの側にいてあげようとする気持ちがあれは、言葉は必要ないのだと感じた瞬間でした。

２０２２年　かめ　ヴィジブル